



# 白石高だより

第 3 2 1 号  
平成26年3月24日

白石高校ホームページ<http://www3.saga-ed.jp/school/edq10018>

## ◇第66回卒業証書授与式（3月1日）

寒さの和らいだ3月1日、卒業生156名が学舎を巣立っていきました。  
校長先生より卒業生一人ひとりに卒業証書が手渡されました。



送辞を述べる池田将也君



答辞を述べる平井見季さん



校歌斉唱では館内に大きな歌声が響き渡り、すばらしい卒業式となりました。

## ◇「第14回歌垣の里・白石三十一文字コンテスト」に多数入賞！

日本三大歌垣のひとつに数えられる白石町。「歌垣の里・白石三十一文字コンテスト」は、それにちなんで開催されている短歌のコンテストです。今回は高校生の部に全国から407首の応募があり、本校1、2年生5名が入賞しました。

最優秀賞に塘遼君（2年）、優秀賞に峰松直美さん（2年）、藤井那名さん（2年）、秀作に川崎佳奈恵さん（1年）、近藤翔平君（2年）が選ばれました。

本校では毎年、1、2年生全員で応募をしています。今年は塘君の最優秀賞をはじめ、これまでにない入賞者数となりました。

・最優秀賞  
鍵盤の古傷と指比べ見て世話になったと埃を払う

塘 遼君

・優秀賞  
誰よりも分かってくれる親友が心友となり真友となる

峰松 直美さん

・優秀賞  
黒白の並ぶ鍵盤ふれるたび想いを示す連なる音で

藤井 那名さん

・秀作  
産声を上げてから早十五年あなたの元に生まれて良かった

川崎佳奈恵さん

・秀作  
手をつなぎいつも一緒に登下校隣にいるのは僕の自転車

近藤 翔平君

## ◇合格体験発表会（3月17日）



大畑響君



原田浩希君



赤坂公洋君

自分の夢を叶えるために頑張った卒業生6人から、後輩へのアドバイスとエールがもらわれました。

6人が口を揃えて言っていたことは、「授業を大事にする、集中すること」と、「早い段階で志望校や就きたい仕事などを決めること」ということでした。その他にも、

- ・定期考査で手を抜かない。評定は、推薦入試を考える際に大きな要素となるので、低学年のうちから頑張っておく必要がある。
- ・推薦入試などで課される小論文は、情報を持っていないと太刀打ちできない。普段から新聞やニュース、本を読んで、自分の進路に関する情報を集めておく。
- ・挨拶や言葉づかいなど、普段から気をつける。「素の自分」が面接のときに出てしまう。
- ・迷ったときには先生方に相談をする。
- ・「ここに行きたい!」という強い気持ちを持ち続ける。
- ・クラス全員で勉強する雰囲気を作る。

というアドバイスがありました。1、2年生の皆さん、先輩の言葉を参考にして「夢を形に」するために頑張っていきましょう。



峰松隼也君



武富光希さん



石島未来さん



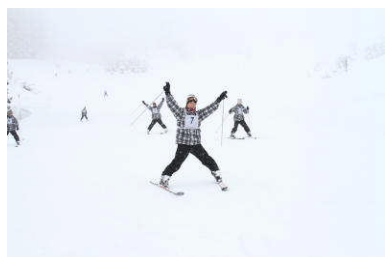
## ◇2年生修学旅行（1月20日～24日）

今年度から修学旅行の行き先が東京・新潟（4泊5日）に変わりました。

初日はスカイツリーを見学し、地上350mからの眺望を楽しみました。



2日目、3日目は新潟県の六日町スキーリゾートでのスキー研修でした。  
雪が絶え間なく降り続く中でのスキーレッスン、最後には思い通りに滑れるようになって、気持ちよさそうにスキーを楽しんでいました。



新潟は米どころ、ご飯がとても美味しかったそうです。



4日目は「おもてなしの心」を学ぶために東京ディズニーランドへ。

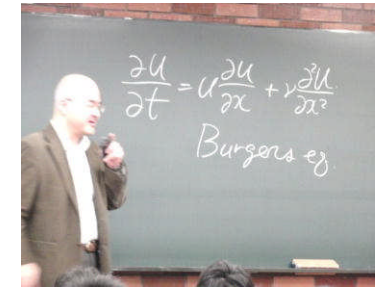


温かい笑顔で接客するスタッフの皆さんや、ゴミひとつ落ちていないことに感動した生徒も。「楽しい時間を過ごせたのは、すべてのスタッフが『おもてなしの心』で接してくれているからだ」と気づいた」という感想も聞かれました。

最終日は日本の最高学府、東京大学での講演会でした。

講師の西成活裕先生は、「世界一受けたい授業」にも出演されたことのある、「渋滞学」を研究されている先生です。

講演は、先生が大学に進む際に「数学を使って人の役に立ちたい」と考えられたことから始まり、数式でデザイン画が描けることなども紹介されました。研究されている「渋滞学」については、実験の様子などを交えてわかりやすく説明していただきました。



4泊5日の修学旅行は、大変中身の濃いものとなりました。高校時代の素晴らしい思い出となったことでしょう。